



# 関東中央病院 Memories 思い出のアルバム No.6

このシリーズは、平成5年（1993年）1月から、「緑のひろば」で12回にわたって連載された記事の再掲載です。



「軍艦病院」と呼ばれた旧西病棟

旧西病棟（昭和33年完成）・東病棟（43年完成）や外来棟（44年完成）は当時としては大変モダンな建物だったようです。特に旧西病棟は鉄筋コンクリート5階建（一部6階）で、周辺に同様の建物は存在していませんでしたので、大変目立ちました。瀬田や玉川台から当院を見ると、まるで洋上に浮かぶ軍艦のごとく見えたそうです。というわけで、当院は「軍艦病院」というニックネームで呼ばれていました。



平成元年5月  
旧西病棟の解体工事がはじまった



現在（平成5年）の病棟、外来棟。外洋クルーザーに見えますか？

東急新玉川線用賀駅<sup>※1</sup>前で現在（平成5年）建設中の高層ビル<sup>※2</sup>から見ると、当院は洋上に漂流する手漕ぎボートのように見えるのでしょうか。浦賀水道を通過する大型タンカーには見えなくても、せめて湘南のマリーナに入港する外洋クルーザーのように見えてほしいものです。

※1 現・田園都市線

※2 現・世田谷ビジネススクエア

◆次回は平成25年8月号に掲載する予定です。